

## 持続可能な開発において子どもの保健を優先するために

2012 年国連持続可能な開発会議（リオ+20） ワールド・ビジョン政策提言書

1. 子どもの保健を優先した持続可能な開発の行動計画を策定する。ポスト MDGs に向けて環境分野と開発を連携させる。
2. 説明責任を向上するため、持続可能な開発の計画や実施、モニタリング、評価のプロセスに子どもを含めたコミュニティの参加を促進する。
3. 子どもや地域の保健に関する持続可能な開発に向けて、地域、国、国際レベルのすべての関係者がそれぞれの分野を超えて、連携する。
4. 脆弱国と中所得国における貧困も認識した目標を策定する。

ワールド・ビジョンは、以下の政策をリオ+20 に提言します。

### 1. 持続的な農業と子どもの栄養のために

(1) 各国政府に次の政策を提言します。

- リオ+20において、栄養と気候変動を考慮した持続可能な農業と食料安全保障に向けた各国の取り組み、加盟国の共同での取り組みに関し、具体的な約束を発表してください。
- リオ+20で議論される、持続可能な農業と食料安全保障に関する国際的な目標において、子どもの栄養を第一の指標としてください。
- 持続可能な農業、食料安全保障、貧困削減戦略とそのプロセスに関するモニタリングと報告に、子どもの栄養に関する指標を取り入れてください。
- 開発途上国の農業を、気候変動に適応させる取り組みへの投資を優先してください。この目的の達成に年間70億ドルを投入し、気候変動に関連する取り組みへのさらなる資金提供の可能性を探求してください。
- 環境保全に対する投資を支援し、生態系を大切に市場の開発を推進してください。

(2) 国、地方、地域レベルにおいて、政府、開発援助機関、プログラム・マネジャーは、以下の政策を優先すべきです。

(a) 子どもの栄養に関する統合的な戦略および目標

- 「栄養への取り組み拡充(Scaling Up Nutrition: SUN)」枠組、および栄養不良の子どもの数の削減を目指して拡充されている各国の取り組みを支援してください。
- 農業政策、プログラム、開発援助において、子どもの栄養向上を主な目的として定めている各国政府主導の戦略を支援してください。

(b) 小規模農民の支援

- 生産性の向上と環境保全を併せて達成するために、小規模農民を支援してください(例えば、土壌肥沃度・土壌炭素を向上させる方策、土壌劣化を削減する方策、農業活動の多様化など)。

(c) 参加型の農業・栄養イニシアティブ

- ジェンダーを重視した参加型のイニシアティブを推進してください(特に女性の農民を対象としたマイクロクレジットへのアクセスの向上、女性による土地所有・土地所有権の承認、コミュニティを基盤とした栄養教育プログラムなど)。

## 2. 家庭での清潔なエネルギーと子どもの保健

(1) エネルギーへのアクセスと子どもの保健に取り組んでください。

- エネルギーへのアクセスとミレニアム開発目標との関連性を明記した声明を発表してください。声明では、最も貧しく、弱い立場にあるコミュニティの近代的なエネルギーへのアクセス確保が政治的な優先課題であること、またこれに沿うよう政策の方向性や資金の分配が見直されるべきであることを明記してください。さらにこの約束では、求められる主な成果として、室内空気汚染の緩和と幼児の呼吸器感染の予防を優先すべきです。

(2) 国家目標・指標の開発、策定に取り組んでください。

- 開発途上国のリーダーたちは、2030年までに普遍的なアクセスを確保するという世界的な目標の達成に向けて、各家庭のエネルギー施設へのアクセスを拡充するため、暫定的な国家目標、目的、指標を策定すべきです。
- 伝統的なバイオマスへの依存率が高い国々では、国家開発戦略および貧困削減戦略の一部として、女性と子どもの保健の向上を目的とした、低燃費調理用コンロへのアクセス向上を具体的な目標として定めるべきです。
- 目標、ターゲット、および指標を2015年までに明記し、以降、毎年報告を行ってください。

(3) コミュニティでの能力開発と参加を推進してください。

- 各国の政府は、低燃費調理用コンロの普及を目指すプロジェクトにおいて、プロジェクトの計画、実施、モニタリング・評価の各段階に対象となるコミュニティが参加するよう、推進すべきです。

(4) 最も貧しく、弱い立場にいる人々を対象とした政策の実施を保証してください。

- 国家のエネルギー政策・計画は、開発途上国の最も貧しく、弱い立場にいる子どもたちとコミュニティに焦点を当てて、作られるべきです。小規模のプロジェクトを軽視し、大規模な電力インフラを重視するべきではありません。その効果が最も貧しい家庭に届き、地域における保健の向上に貢献するのは、小規模なプロジェクトなのです。

(5) エネルギーへのアクセスと清潔な調理施設に投入される公的資金を拡充してください。

- ドナー諸国は、2030年までに清潔な調理用コンロへの普遍的なアクセスを提供するため、追加資金を早急に動員すべきです。その額は740億ドルと推算されており、またバイオマスの調理用コンロの普及費用は170億ドルと推算されています(毎年8億ドル)。最も貧しい国や地域で低燃費調理用コンロを普及させていく過程において、商業的利益は見込めません。そのため、立ち上げ時のコストを支援するため、低燃費調理用コンロの普及に関する資金の大部分は、多国間あるいは二国間の援助により提供されるべきです。
- ドナー政府は、2011年12月にダーバンで開催された第17回気候変動枠組条約国会議において提唱された「グリーン気候基金」を通じて、これらの資金を準備、提供すべきです。